

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 6次産業化サポート体制整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 地産地消係 電話番号：058-272-1111(内線 2853)

E-mail：c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 23,419 千円 (前年度予算額： 23,419 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	23,419	23,419	0	0	0	0	0	0	0
要求額	23,419	23,419	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

6次産業化を目指す農業者等と食品事業者、流通業者、観光業者等の多様な事業者とのネットワーク構築を通じた6次産業化や地産地消等の取組を推進するためサポートセンターを設置し、専門家による農業者等の個別相談や人材育成を目的とした研修会や先進的な6次産業化事業者等へのインターンシップ研修を実施する。

(2) 事業内容

農業者等の6次産業化の取組を推進するサポートセンターを設置し、以下の支援業務を実施する。

① 戦略に関する交流会の開催

農林漁業者の異業種交流を目的とした交流会を開催する。

② 人材育成研修会の開催

6次産業化を実践する人材の掘り起し及び育成をするために、加工技術、経営、販路開拓、インターンシップ研修等を開催する。

③ 6次産業化サポート活動支援

農林漁業者の相談対応のため6次産業化プランナーの登録派遣を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫支出金を財源とし、県負担はない。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	23,419	岐阜県6次産業化サポートセンターの設置運營業務
合計	23,419	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○岐阜県長期構想

I 新たな「成長・雇用戦略」の展開

未来につながる農業づくり

6次産業化の推進

○ぎふ農業・農村基本計画

売れるブランドづくり

農業の6次産業化の取組拡大

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

○ぎふ農業・農村基本計画

農産物の付加価値を高め、農業者の所得向上に繋げるため、農業者自らによる加工・販売や商工業者と連携した魅力ある商品開発など「農業の6次産業化」を一層進める。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値 <small>(前々年度末時点)</small>	目標	達成率
総合化事業計画の 認定件数（累計）	53件 (H25)	84件 (H29)	90件 (H30)	93件 (R1)	88件 (R3)	110% 基本計画

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

推進会議 1回、交流会 1回

6次産業化チャレンジ研修会 25講座

専門家派遣 270件/年

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

令和2年度に6次産業化総合化事業計画の新規認定2件（3月末見込）

今後、更に新規認定が増え、また既認定者のフォローアップ等により、新たな商品開発及び売上増に結びつくと見込まれる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
（評価） ○	<p>農業者等にとって6次産業化への取り組みは経営安定や生産物の効率的な利用の観点等から関心や期待が高いが、生産技術に加え、商品の企画力・販売先の確保など専門的な知識に加え、新たな設備投資などが必要である。よって県がサポートセンターを設置し、農業者へのサポート業務を継続実施する必要がある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
（評価） ○	<p>研修会開催や専門家の派遣など総合的な支援により、6次産業化の取り組みが増え、新商品の開発につながっている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
（評価） ○	<p>多様な知識を持つ専門家派遣事務および研修会の企画実施等を、民間事業者に委託して事業を実施することにより、効率化が図られている。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 6次産業化に取り組む農業者が抱える多種・多様な課題への対応が求められている。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 6次産業化の促進は国の成長戦略にも位置付けられており、本事業の継続が必要。今後の認定事業者を継続的に育成していくために、新規事業者の掘り起しや育成のための研修会の充実に取り組む。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【○○課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	

